

# 個別支援学級

生活単元・生活科・理科

5くみワクワクくるまランド～はしれ！わたしだけのくるま～

## 【生活単元・生活科グループ】

生活科の学習では、動く車のおもちゃを作り、その車を目標の駅前まで走らせる活動をしました。山手駅から桜木町駅、横浜駅など一人ひとりが目的の駅を決め、その駅まで走ることができるか試しました。はじめに「はたらくくるま」を皆で踊り、車の運転手になりきり、意欲を高めて活動に取り組むことができるようにしました。「横浜駅より遠くまで走ったよ。」と目標の駅まで走らせたり、「途中で曲がってしまう。」と友達に相談したりする姿が見られました。



## 【理科グループ】

一人ひとりが自分の理想のモーターカーを作る中で、見つけた問題をそれぞれが解決する学習を行いました。「電池の数を1個から2個に増やすと、モーターカーのスピードは変わるのだろうか。」という問題を見だし、予想をする子どももいれば、「普通の乾電池と充電式の乾電池では、モーターカーの走りは変わるのだろうか。」という問題を調べるために、実際にそれぞれの乾電池でモーターカーを走らせて比べ、それぞれの乾電池の利点と不利点を踏まえて、どちらの電池を使っていくべきか考える子どももいました。それぞれの子どもたちが自分の理想のモーターカーの完成に向けて、時には友達と協力しながら、粘り強く問題解決学習に取り組む姿が見られました。



講師の先生からは、「教師がそれぞれの児童の目標を把握し、目標達成のための一人ひとりへの手立てがきちんと練られている。児童の実態に合わせ、個別最適化を意識した授業づくりができていた。」と評価をいただきました。